

第3回魚河岸地区周辺にぎわい創出推進委員会 結果概要

1.日 時 平成26年2月3日(月)午後6時30分から午後7時40分まで(70分)

2.場 所 釜石市役所第4庁舎 第7会議室

3.出席者 別紙出席者名簿のとおり(次第裏面)

4.内 容 別紙次第のとおり

5 結 果

平松室長の開会、若崎副市長あいさつに続き、遠藤委員長の司会のもと事務局から別紙次第協議事項について順次、説明し、意見交換を行ったもの。各委員から魚河岸地区の方向性、防潮堤の線形、魚河岸にぎわい創出施設の機能について了承を得た。なお、計画書の修正については軽微なものは事務局で作業を進めることとし、今年度の委員会は第3回をもって終了することとした。

各委員の発言の概要は、以下のとおり。

6.発言の概要

(委員長) 事務局から説明のあった魚河岸の方向性、防潮堤の線形、にぎわい施設の機能について意見をお聞きしたい。事務局で補足はあるか。

(事務局) 事務局の説明のとおり。まずは魚河岸の方向性からお聞きしたい。

(委 員) 海や水産物を中心にしたエリア。久慈市での取り組みを資料として事務局に提出してある。参考にしていただきたい。魚河岸の方向性については問題ないと思う。

(委員長) 魚河岸地区の方向性は資料3の内容だと感じる。

(事務局) 資料1については資料3とオーバーラップしても構わない。

(副市長) 地元の利用は曳き船まつりで主な部分は観光客が対象で土日がメインとなるのか。

(委 員) 観光客は土日が多いというわけではない。シニア世代の観光は平日が主となる。魚河岸は観光地としては弱いランチ会場になる可能性がある。通過ポイントとなるのでお土産品も扱ったほうがいい。鈴子地区は大型バスの駐車場が不足しているので、魚河岸地区は団体客向けの場所となる可能性がある。

(委 員) 実際の棲み分けはもっと厳しいと感じる。

(委 員) イベントは土曜日がメインで日曜日は移動日となる。いつでも行っても楽しい施設が必要となる。土日だけでは厳しい。市内ホテルや市場との連携して協力しながらやっていく必要がある。市として観光に対する考え方を変える必要がある。

(事務局) 平日も観光客が利用できるようにしたい。飲食については如何か。

(委 員) 自分たちが食べたいと思える場所が観光につながる。

(委 員) 市内では食べる場所がない。地元の海産物を食べたいと言うニーズはある。宿泊客は朝、昼に新鮮な魚を食べたがっている。市場付近の食堂に観光客も来ているようだがキャパが狭く対応できていない部分もある。魚河岸地区で食の提供ができればいい。

(事務局) 食をメインにして、お土産品等を扱うイメージか。

(委 員) サンマ、サバ、スルメなどを販売してもいいかと思う。ホタテやカキもある。

(委 員) 観光客が買えて、食べられればさらにいい。食の機能もひとつだけでなく複数あればいい。

- (委員長) 何が何とどうつながっているかが大事なこと。
- (委員) 観光と言うことであれば郷土芸能の発信も大事だ。虎舞会館を整備して虎舞を見せる機能があってもいい。観光の一つの要素になる。
- (委員) 魚に限定した食の提供ができればいい。
- (委員) 大型バスも駐車でき、施設機能がある程度まとめたほうが観光客にとってもいい。
- (委員長) 観光的な利用、日常的な利用、まずは魚市場があって魚河岸の機能がどうつながるかがポイントとなるうか。
- (事務局) 魚市場との連携を構築しながら食の提供を位置付ける。資料1について問題ないか。
- (全委員) 特に問題ない。
- (事務局) 資料2 防潮堤の線形について、ご意見をお聞きしたい。
- (委員) 水門が多い気がする。
- (事務局) 水門のついては魚市場としての動線もある。必要最低限とし関係部署と調整する。
- (委員長) 駐車場の機能とかに問題はないのか。祭りの動線を考えつつ合理的に設置してほしい。
- (副市長) 防潮堤の線形について変更は可能なのか。
- (委員) 問題ない。
- (事務局) 資料2について問題ないか。
- (全委員) 特に問題ない。
- (事務局) 資料3については資料1を拡大したもの。祭りの動線について如何か。
- (委員) 祭りの動線については問題ない。
- (委員長) 背後地の誘致企業との調整が必要なのではないか。
- (委員) 祭りの動線はある道路で対応できる。背後地の加工施設の誘致が大事ではないか。
- (委員) 誘致企業を優先してほしい。
- (事務局) 市場の水門については必要最低限で調整する。祭りの動線についても背後地の土地利用に配慮したものとし関係課と調整する。
- (委員) 避難路については道路幅も検討していただきたい。
- (事務局) その他、資料3についていかがか。
- (全委員) 特になし。
- (委員長) エリアの構想については問題ない。今の時点で委員会で示せるスケジュールはあるか。
- (事務局) 計画書を取りまとめさせて頂く。修正作業については事務局に一任していただきたい。平成26年度に設計、27年度工事着工、28年度にオープンを目指している。今後、財源や実施主体について調整する。平成26年度も委員会を継続させていただきご意見を頂戴したいと考えている。
- (委員) 具体的な取り組みを見せていかなければならない。
- (委員長) 委員会として市長に提言をして来年度を迎えたい。
- (委員) ソフト面をみんなで考えていかなければならない。運営の方が大事だ。
- (委員) 計画の段階から実施主体にも参画してもらう必要があると感じている。
- (委員) 魚河岸地区だけではなく新浜町の土地についても活用が必要かと。
- (委員) 市場関係の大型トラックの駐車場となる。

- (委員長) 魚河岸の計画については柔軟に対応していければいいと考えている。
- (事務局) 計画書 P58 にアクションプランをお示している。運営方法についてはご意見を聞きながら進めていきたい。
- (委員) 漁協女性部は平田地区 34 名、白浜地区 94 名、釜石地区 25 名となっている。一人ひとりでは力不足だが協力してやっっていければいい。
- (委員) 美味しいものが食べられて、お土産が買える場所として期待している。箱崎の漁協女性部も被災しながら一生懸命やっている。協力していければいい。
- (課長) 鵜住居の観光施設では東部漁協に協力していただき計画を進めているところだ。東部地区でホテル建設が進み、宿泊客が 700～800 人程度となる。FP3 については朝ごはんを提供したり、食の提供ができればいい。
- (副市長) 様々な課題はあろうが計画だけで終わらせることがないように取り組みたい。施設の運営については企業家が出てきて前向きな議論が進めばいいと感じる。釜石東部地区は FP1 だけでなく FP3 も大事な要素となる。委員会の意見が重要になってくるので今後ともよろしくお願ひしたい。
- (委員長) 1 年間、お疲れ様でした。FP3 については大きな骨格ができたと思っている。やはりソフト面が重要で計画書についてもそのソフト面を置き去りにしないような柔軟性も必要となってくる。事務局には柔軟な対応をお願ひしたい。

閉会